

NY マーケットレポート (2017 年 1 月 4 日)

NY 市場では、米国の主要な経済指標の発表がなく、新規材料に乏しい中、序盤は米債券利回りの低下を背景に、ドル売り・円買いが先行し、ドルは主要通貨に対して軟調な動きとなった。そして、FOMC の議事録では、緩やかなペースでの利上げが引き続き適切となる可能性が高いとの認識が改めて示されたことを受けて、ドルは主要通貨に対して下落した。しかし、インフレ高進を防ぐために、いずれは利上げペースを速めざるを得なくなる可能性があるとの見解も示されたことで、ドルは上昇する場面もあった。ただ、終盤には円を買い戻す動きも見られ、ドル円・クロス円は、上値の重い動きとなった。

2017年 1月 4日 (水)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	118.00	118.18	117.54
EUR/JPY	122.92	122.97	122.41
GBP/JPY	144.74	144.95	143.92
AUD/JPY	85.46	85.52	84.92
EUR/USD	1.0417	1.0424	1.0390

LONDON	高値	安値
USD/JPY	118.00	117.36
EUR/JPY	122.92	122.56
GBP/JPY	144.76	143.97
AUD/JPY	85.71	85.29
EUR/USD	1.0447	1.0415

*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	117.28	117.75	117.06
EUR/JPY	122.98	123.12	122.51
GBP/JPY	144.48	144.91	143.70
AUD/JPY	85.40	85.48	85.11
NZD/JPY	81.66	81.73	81.37
EUR/USD	1.0486	1.0501	1.0428
AUD/USD	0.7282	0.7285	0.7254

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	19942.16	+60.40
S&P500	2270.75	+12.92
NASDAQ	5477.00	+47.92
日経225 (CME)	19625	+305
トロント総合	15516.75	+113.72
ボルサ指数	46587.74	+464.38
ボエスパ指数	61589.06	-224.77

1/5 経済指標スケジュール

08:50 【日本】12月マネタリーベース
 09:30 【香港】12月購買部景気指数
 10:45 【中国】12月財新メディア非製造業PMI
 14:00 【日本】12月自動車販売台数
 17:15 【スイス】12月消費者物価指数
 18:30 【英国】12月非製造業PMI
 19:00 【欧州】11月生産者物価指数
 20:00 【南アフリカ】11月電力消費・発電
 21:30 【米国】12月チャレンジャー人員削減数
 22:15 【米国】12月ADP雇用統計
 22:30 【米国】新規失業保険申請件数
 22:30 【米国】失業保険継続受給者数
 22:30 【カナダ】11月鉱工業製品価格
 22:30 【カナダ】11月原料価格指数
 23:45 【米国】12月マークイット米国サービス業PMI
 00:00 【米国】12月ISM非製造業景況指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1165.30	+3.30
NY 原油	53.26	+0.93
CME コーン	359.75	+4.00
CBOT 大豆	1015.25	+20.25

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.218%	1.218%
3年債	1.476%	1.481%
5年債	1.926%	1.942%
7年債	2.243%	2.257%
10年債	2.434%	2.446%
30年債	3.032%	3.045%

ドイツ10年債	0.276%	0.264%
英国 10年債	1.335%	1.330%

1/5 主要会議・講演・その他予定

NY 市場レポート

21 : 00

＜ 経済指標の結果 ＞

米 MBA 住宅ローン申請指数（前週比） 0.1%（前回 -12.1%）

指標結果データ

＜MBA 住宅ローン申請指数＞

	12/30	12/23	12/16	12/9	12/2	前年同期
申請指数	0.1	-12.1	2.5	-4.0	-0.7	9.1
購入	-1.4	-0.7	2.7	-3.3	0.4	16.2
借換え	1.7	-23.2	3.0	-3.6	-0.7	1.5
固定金利	1.3	-12.0	2.0	-4.2	-1.0	8.3
変動金利	-16.3	-12.7	8.6	-0.7	3.0	26.0

固定金利 30 年 4.39 4.45 4.41 4.28 4.27

固定金利 15 年 3.64 3.70 3.64 3.52 3.53

21 : 05

＜ 要人発言 ＞

菅官房長官

- ・「為替の過度な動きにはしっかりと注目していくのが大事」
- ・「投機筋による一方向な流れについては、政府が注視しながら対応する」

＜海外の話題＞

IMF が公表したデータによると、2016 年の第 3 四半期の準備通貨に占める米ドルの割合は 3 期連続で下がり、2 年ぶりの低水準に落ち込んだ。IMF に報告済みの準備通貨に占めるドルの割合は今年第 3 四半期が 63.3% で、2014 年の第 3 四半期以来の低水準となった。第 2 四半期は 63.8% だった。ユーロの割合は、第 3 四半期が 20.3%、第 2 四半期が 20.0% だった。円は第 3 四半期が 4.5%、第 2 四半期が 4.4% だった。IMF に報告されていない準備通貨の額は第 2 四半期の 3 兆 4700 億ドルから第 3 四半期には 3 兆 2100 億ドルに減少。

＜ NY 債券市場 ・ 午前 ＞

序盤のニューヨーク債券市場は、追加利上げを決めた昨年 12 月の米 FOMC の議事録公表を控えて警戒感が広がり、売りが先行した。また、米国株や原油価格の上昇も圧迫要因となった。

午前の利回りは、30 年債が 3.05%（前日 3.05%）、10 年債が 2.46%（2.45%）、7 年債が 2.27%（2.26%）、5 年債が 1.96%（1.94%）、3 年債が 1.49%（1.48%）、2 年債が 1.23%（1.22%）。

＜欧州のポイント＞

①トルコ議会は、昨年 10 月に 3 ヶ月間延長されていた非常事態宣言（昨年 7 月 15 日の軍によるクーデター未遂事件を受けて発令された）を今月 19 日からさらに 3 ヶ月延長することを可決したと国営通信が伝えた。非常事態宣言下では、政府は議会を通さずに新法を成立させたり、権利や自由を制限・停止したりすることができる。

②12 月のフランス消費者信頼感指数は、市場予想と一致の 99 となり、2007 年 10 月以来約 9 年ぶりの高水準となった。失業への懸念がやや後退し、世帯の家計への信頼感も改善した。

③ユーロ圏の 12 月消費者物価指数速報値は、前年同月比+1.1%となり、市場予想の+1.0%を上回った。また、燃料や食料など変動幅の大きな項目を除いたコアインフレ率は+0.9%となった。ECB は 2%弱の物価上昇目標を掲げており、2017 年は+1.3%を見込んでいる。欧州の主要国でも、インフレ率が予想以上に上昇していることから、ECB は今後の政策判断に、物価上昇圧力への注目を指摘する可能性もある。

12月米自動車販売

フィアット・クライスラーは-10.0%（予想-14.0%）

フォードは+0.1%（予想-2.1%）

GMは+10.0%（予想+4.4%）

VWは+20.3%

トヨタは+2.0%（予想-2.3%）

日産は+9.7%（予想-2.8%）

ホンダは+6.4%（予想-1.0%）

4:00

《FOMC 議事録》

- ・「現在は緩やかな利上げペースが適切と判断」
- ・「財政政策により成長には上振れリスクがあると判断」
- ・「利上げ加速の必要があるかもしれないと多くが判断」

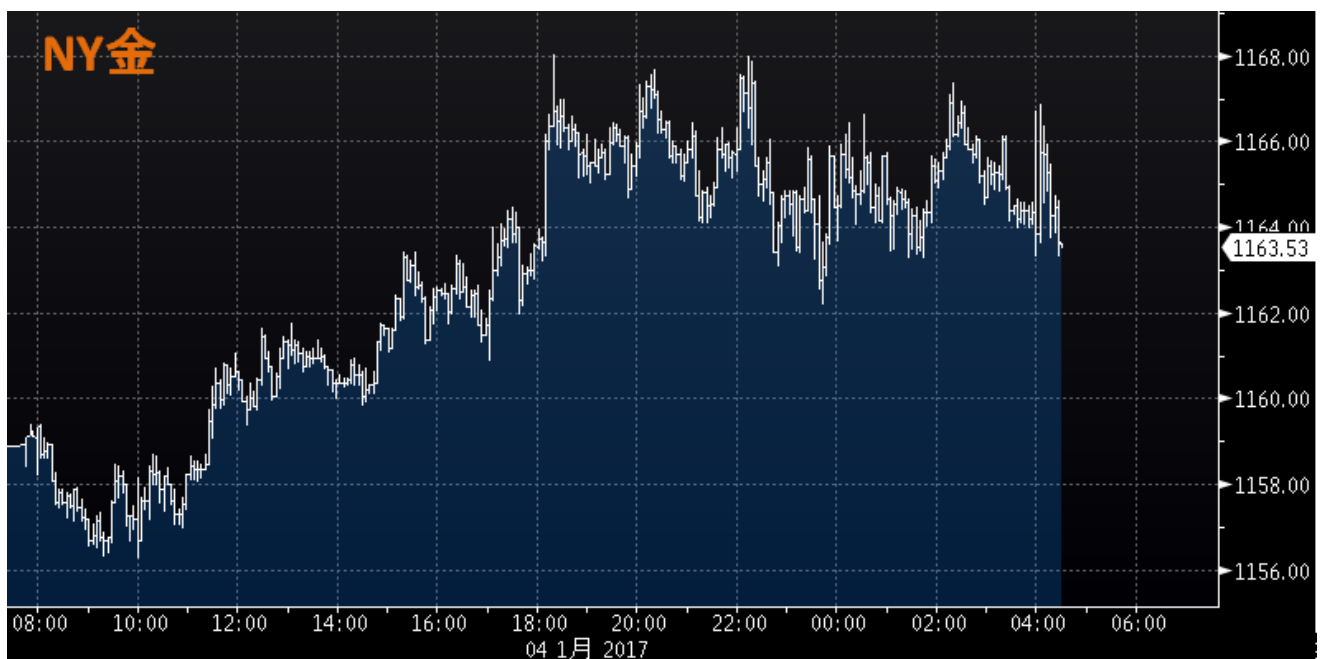
- ・「強いドルがインフレを抑制すると幾人かが判断」
- ・「下振れリスクは強いドルや弱い国外経済など」
- ・「信頼感改善が投資を押し上げる可能性も」

- ・「住宅指標は住居用投資の改善を示唆」
- ・「個人消費は緩やかな伸びが続くと予想」
- ・「利上げ過程では市場との対話が課題として強まる」
- ・「労働市場のオーバーシュートをほぼ全員が予想」

《 NY 金市場 》

NY 金は、中心限月が前日比 3.30 ドル高の 1 オンス=1165.30 ドルで取引を終了した。

NY 金は、ドルが主要通貨に対して下落したため、ドルの代替資産とされる金の買いが優勢となった。中国の春節を控えて金需要の増加を見込んだ買いも入った。



出所：Bloomberg

《 NY 原油市場 》

NY 原油は、中心限月が前日比 0.93 ドル高の 1 バレル=53.26 ドルで取引を終了した。

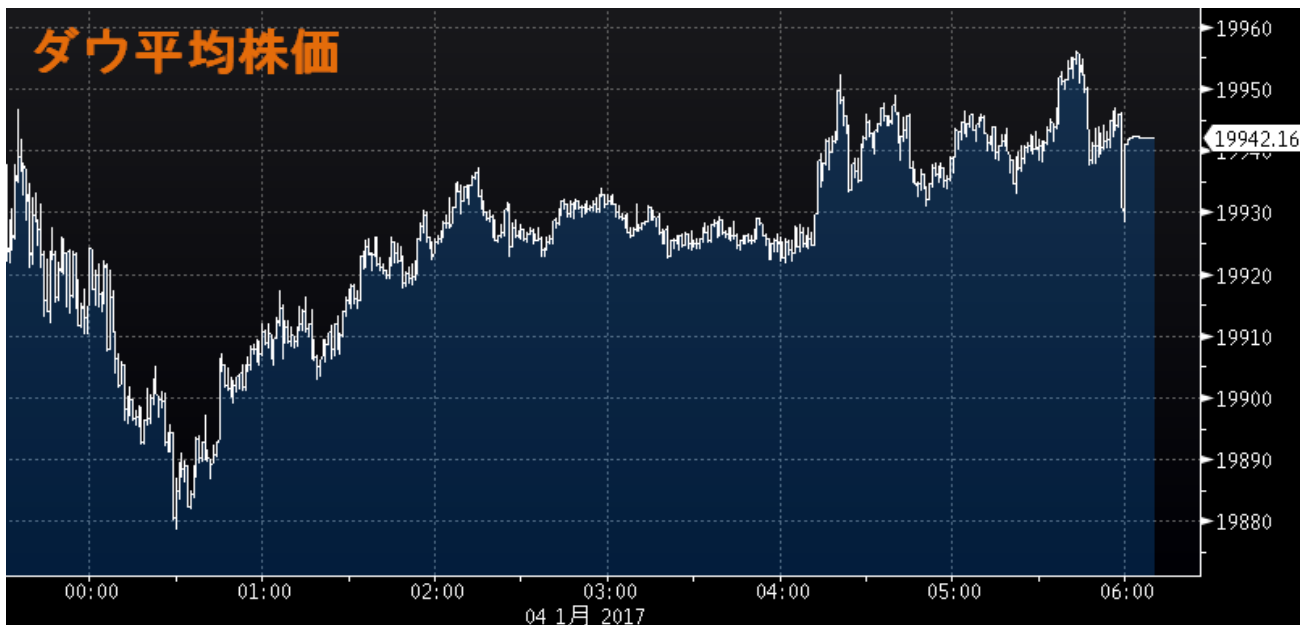
NY 原油は、5 日に発表される米石油統計で原油在庫の減少が予想されていることを材料に、買いが優勢となった。また、主要産油国が協調減産合意を順守するとの期待も引き続き支援材料となった。



出所：Bloomberg

《 米株式市場 》

米株式市場は、2016 年 12 月の米新車販売台数が好調だったとの報道を受けて、経済の先行きに対する楽観的な見方が広がり、買いが優勢となった。ただ、米 FOMC 議事録の内容を見極めたいとの思惑も出ており、ポジション調整の売りも見られた。その後は、堅調な動きが続き、終盤にこの日の高値を付ける動きとなった。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、米債券利回りが低下したことで、ドル売り・円買いが先行し、序盤のドル円・クロス円は軟調な動きとなった。利上げペースが加速する可能性も指摘されたことから、ドルが円などに対して上昇したものの、上値は限定的となった。また、円が売られたこともあり、クロス円も一時底固い動きとなった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。